



2008年 8月19日

公式規則公報 (第13号)

公式規則公報は、日本アメリカンフットボール協会制定の公式規則書・公式規則解説書等の記載内容の解説、例示、変更を行うものである。今後とも必要に応じて適宜発行される。

本文書は、「2008～2009 アメリカンフットボール公式規則・公式規則解説書」の内容の訂正、20項目を公報するものです。本公報の内容は、即時に適用します。

記

(下線部が訂正箇所)

No	規則・解説	篇-章-条	誤	正
1	公 式 規 則	1-2-1-h	【前略】(例外:シーズン前後の試合においては、試合の名前に関連した後援団体のものは許される。)	【前略】(例外:(1)シーズン前後の試合においては、試合の名前に関連した後援団体のものは許される。(2)商業組織体が施設の命名権を保有している場合、フィールド上にその名前を表示することは許される。しかし、商業用ロゴは、フィールド・オブ・プレーでは認められない。)
2		1-2-4-e	【前略】 また、報道関係者とチームエリアまたはコーチング・ボックス内のチーム関係者とのいかなる手段による会話、交信も禁止される。	【前略】 また、報道関係者とチームエリアまたはコーチング・ボックス内のチーム関係者とのいかなる手段による会話、交信も禁止される。 <u>チームエリアと観客席の間に通り道がない競技場では、チームエリアを挟んだ一方の区域から他方の区域に報道関係者が行き来するための通路をフィールドの両サイドにおいて設けなければならない。</u>
3		1-3-2-a	両チームから出されたそれぞれ6個以下の試合ボールの検査および判定は、試合前および試合中を通じてレフリーが行う。グラウンド状況等による試合ボールの使用個数の追加の許可は、レフリーが行う。【後略】	両チームから出されたそれぞれ6個以下の試合ボールの検査および判定は、試合前および試合中を通じて審判員が行う。グラウンド状況等による試合ボールの使用個数の追加の許可は、審判員が行う。【後略】
4		1-4-4-b	4ポイントまたは6ポイント・チンストラップにより固定されたヘルメット、およびフェイス・マスク。チンストラップにより固定されていない場合は、バイオレーションである。【後略】	<u>フェイス・マスクがあり、かつ4ポイントまたは6ポイント・チンストラップにより固定されたヘルメット。チンストラップにより固定されていない場合は、バイオレーションである。【後略】</u>

No	規則・解説	篇-章-条	誤	正
5	公 式 規 則	1-4-5-o	ユニフォームへの付着物。(例外:(1)攻撃側の1名のインテリア・ラインマンが付けた1枚の水分を吸収する無地の白いタオル。他のプレーヤーがベルトの前面および側面の位置に付けた4インチ×12インチ(10cm×30cm)の1人につき1枚の水分を吸収する無地の白いタオル。 【後略】	ユニフォームへの付着物。(例外:(1)攻撃側の1名のインテリア・ラインマンが付けた1枚の水分を吸収する無地の白いタオル。 <u>このタオルの大きさおよび付ける場所</u> についての制約はない。他のプレーヤーがベルトの前面および側面の位置に付けた4インチ×12インチ(10cm×30cm)の1人につき1枚の水分を吸収する無地の白いタオル。【後略】
6		1-4-9-a	【前略】 節と節との間を含めて、試合中はいつでも、コーチングを目的とした映画、あらゆる種類のフィルム、ファクシミリ機器、ビデオテープ、写真、文書(絵図を含む)伝送機器、およびコンピュータの使用を禁止する。	【前略】 節と節との間を含めて試合中はいつでも、映画、あらゆる種類のフィルム、ファクシミリ機器、ビデオテープ、写真、文書(絵図を含む)伝送機器、およびコンピュータは <u>コーチが使用したり、コーチングを目的として使用することはできない。</u>
7		1-4-9-c	カメラ、音声装置、マイクロフォンなどのメディアの伝達装置を、フィールド、チームエリアおよびそれらの上空で使用することを禁止する。(参照:2-31-1)【後略】	カメラ、音声装置、マイクロフォン、 <u>コンピュータ</u> などのメディアの伝達装置を、フィールド、チームエリアおよびそれらの上空で使用することを禁止する。(参照:2-31-1)【後略】
8		2-25-10-e	【前略】(参照:2-30-2および3、および10-2-2-e)(例外:スクリメージ・キック時における9-1-3-b)	【前略】(参照:2-30-2および3、および10-2-2-e)(例外:スクリメージ・キック時における9-1-4-b)
9		5-2-3	【前略】(例外:8-3-3-b-1、10-2-2-e例外3、10-2-2-e例外6および10-2-2-g)【後略】	【前略】(例外:8-3-3-b-1、10-2-2-e例外3、10-2-2-e例外5および10-2-2-g)【後略】
10		6-1-2-g 罰則	ライブボール中の反則。プレビース・スポットから5ヤード、Bチームのラン後にBチームに所属するボールデッドの地点から5ヤード、またはタッチバックによりボールが置かれた地点から5ヤード。【後略】	ライブボール中の反則。プレビース・スポットから5ヤード、 <u>プレー後のデッドボール</u> がBチームに所属する地点から5ヤード、またはタッチバックによりボールが置かれた地点から5ヤード。【後略】
11		6-1-2-h	Aチームの全プレーヤーはインバウンズにいないといけない。[S19]	Bチームの全プレーヤーはインバウンズにいないといけない。[S19]
12		6-5-1-e	【前略】(例外:6-5-1-a例外、7-1-2、8-6-1-b)	【前略】(例外:6-5-1-b、7-1-2、8-6-1-b)
13		8-3-3-a	両チームに反則があり、確保の変更前にBチームの反則があれば、確保の変更後に更に反則があっても、反則は相殺される。オフセティング・ファウル後の再プレーは、プレビース・スポットから行われる。【後略】	両チームに反則があり、確保の変更前にBチームの反則があれば、確保の変更後に更に反則があっても、反則は相殺され、 <u>ダウンを繰り返す。</u> オフセティング・ファウル後の再プレーは、プレビース・スポットから行われる。【後略】
14		8-3-3-f	キックをキャッチする機会の妨害に対する罰則は、規則によって辞退されるかまたはオフセティング・ファウルとなる(Aチームの得点は認められない)。Aチームの得点は認められない。	キックをキャッチする機会の妨害に対する罰則は、規則によって辞退されるかまたはオフセティング・ファウルとなる。 <u>Aチームの得点は認められない。</u>

No	規則・解説	篇-章-条	誤	正
15	公式規則	9-1-2-p	すべてのプレーヤーは、ショルダーパッドまたはジャージの襟の内側をつかみ、あるいはショルダーパッドまたはジャージの襟の側部の内側をつかみ、直ちにランナーを引き倒すことをしてはならない。 【後略】	すべてのプレーヤーは、ショルダーパッドまたはジャージの襟の <u>後部</u> の内側をつかみ、あるいはショルダーパッドまたはジャージの襟の側部の内側をつかみ、直ちにランナーを引き倒すことをしてはならない。 【後略】
16		10-2-2-g-1	タッチダウンとなったダウン中の得点をしなかったチームの相手側による反則 【後略】	タッチダウンとなったダウン中の得点をしなかったチームによる反則 【後略】
17		A.R. 2-3-3-II	プレーが左方向に流れた状況で、A27がB50の膝にブロックした時、右タックルA77がB50の大腿部の接触から離れつつあった。 【後略】	プレーが左方向に流れた状況で、A27がB50の膝にブロックした時、右タックルA77がB50の大腿部より上への接触から離れつつあった。 【後略】
18	公式規則解説	A.R. 6-2-1-I	【前略】 判定:Bチームには、3つの選択肢がある。それは、プレビース・スポットから5ヤードの罰則で30ヤードラインからAチームに再びキックさせるか、Bチームの35ヤードラインのインバウンズの地点でBチームがボールをプレーに移すか、あるいはボールがアウト・オブ・バウンズになったインバウンズの地点で、Bチームがボールをプレーに移すことが、である。	【前略】 判定:Bチームには、3つの選択肢がある。それは、プレビース・スポットから5ヤードの罰則で30ヤードラインからAチームに再びキックさせるか、Bチームの35ヤードラインのインバウンズの地点でBチームがボールをプレーに移すか、あるいはボールがアウト・オブ・バウンズになったインバウンズの地点から5ヤードの罰則後、Bチームがボールをプレーに移すことが、である。
19	公式規則解説	A.R. 6-2-1-II	【前略】 判定:Bチームには4つの選択肢がある。それは、バイオレーションの地点でスナップをするか、プレビース・スポットから5ヤードの罰則で30ヤードラインからAチームに再びキックさせるか、Bチームの35ヤードラインのインバウンズの地点でBチームがボールをプレーに移すか、あるいはボールがアウト・オブ・バウンズになったインバウンズの地点で、Bチームがボールをプレーに移すか、である。	【前略】 判定:Bチームには4つの選択肢がある。それは、バイオレーションの地点でスナップをするか、プレビース・スポットから5ヤードの罰則で30ヤードラインからAチームに再びキックさせるか、Bチームの35ヤードラインのインバウンズの地点でBチームがボールをプレーに移すか、あるいはボールがアウト・オブ・バウンズになったインバウンズの地点から5ヤードの罰則後、Bチームがボールをプレーに移すか、である。
20		A.R. 6-2-2-II	【前略】 判定:Bチームは、5ヤードと15ヤードの2つの罰則施行後、Aチームに再度キックさせるか、50ヤードラインのインバウンズの地点であるいはボールがアウト・オブ・バウンズに出たインバウンズの地点から15ヤード前方でボールをプレーに移すか、のいずれかを選択できる。	【前略】 判定:Bチームは、5ヤードと15ヤードの2つの罰則施行後、Aチームに再度キックさせるか、50ヤードラインのインバウンズの地点であるいはボールがアウト・オブ・バウンズに出たインバウンズの地点から20ヤード前方でボールをプレーに移すか、のいずれかを選択できる。

以上